済生会だより ならしの

千葉県済生会習志野病院 院外広報誌

No.25 2013.新春号

Contents

- 専門外来の特集
- 医療連携フォーラム開催
- 糖尿病講座のご案内
- 工事のお知らせ

今号の表紙

当院の病後児保育
「キッズケアルームなでしこ」の
スタッフの作品です。

いのちに寄り添い100年。
そして、今日も

病院の理念

患者さんの権利を尊重し、共に考える良質な医療の提供、すなわち患者さん指向の医療をめざし、もって地域住民の健康と福祉の増進に努めます。

病院の基本方針

・職員が誇りを持ち、患者さんが満足・安心できる効率的な医療の提供に努めます。
・すべての診療情報を患者さんにお伝えします。
・信頼される医療を行うために研修、研鑽をいたします。
・地域の医療機関との連携のもとに中核病院としての役割を果たします。

特定の病気や症状、お悩み応える 専門外来

当院では特定の病気や症状のお悩みを専門的に診断・治療・サポートする専門外来をおこなっています。その病気や症状に精通した医師や専門スタッフとゆっくりと話ができるように、原則、予約制となっています。

今回はおもな専門外来をピックアップしてご紹介いたします。

静脈瘤

副院長　外科　山本和夫

特色

静脈瘤外来は静脈瘤を中心とした静脈瘤、深部静脈血栓症など末梢の静脈疾患と動脈閉塞症、動脈瘤など動脈疾患の治療をする血管外科の外来です。

静脈瘤でお悩みの方は多いと思います。静脈瘤治療の第1歩は弾性ストッキングによる圧迫です。静脈瘤による皮膚炎・皮膚潰瘍が出現したときに手術が必要になります。

静脈瘤外来では日本静脈瘤学会認定の弾性ストッキングコーディネーターの資格を持つ看護師が4人います。優しい看護師が懇切丁寧に弾性ストッキングのサイズ合わせや日常生活の注意について説明いたします。

診察日	毎週木曜日 13:00～15:30
予　約	必要
紹介状	必要

関節

副院長　整形外科　原田義忠

特色

股関節・膝関節・足の外科を中心に関節の変形疾患の治療をおこなっています。その他にも、肩外来・手の外科などの外来が特殊外来としてあり、必要に応じて手術をおこなっています。

手術実績（2008年4月～2012年10月まで）

股関節	人工関節	518例
	再置換術	36例
	骨切り術	44例
	股関節鏡	103例

膝関節	人工関節	109例
	関節鏡手術	421例

診察日	毎週月・金曜日
予　約	必要
紹介状	必要

脊椎

整形外科　医長　鳥飼英久

特色

頚椎症、頚椎後靭帯骨化症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎すべり症、椎間板ヘルニアなどの変形性疾患や脊椎炎、脊椎骨折の患者さん対して、地域の医療機関と連携し、その中で精密検査と手術治療を中心におこなっています。

手術では、脊椎前方固定術、後方除圧術やインストゥルメントを使用した脊椎固定術を数多くおこなっています。手術まではどうかと思っていても、手がぎこちない、足がふらつくなどの脊髄症状、両足のしびれ、間欠跛行、足底がボコボコするなどの馬尾神経症状が進行している場合もあります。是非、当センターにご紹介いただければ幸いです。

診察日	毎週水曜日 午後 ※紹介による予約もしくは他科からの兼診での予約を受けています。
予　約	必要
紹介状	必要

側弯（そくわん）

整形外科　医長　井上雅俊

特色

側弯症専門外来です。専門の装具技師と一緒に毎年60例以上の装具治療、手術治療をおこなっています。

紹介状がない方は学校検診の結果を持って受診して下さい。

診察日	第2・4水曜日 14:00～17:00
予　約	必要
紹介状	必要

レーザー

皮膚科　中村康博医師

特色

皮膚科では、「Qスイッチアレキサンドライトレーザー」を用いたシミ、あざの治療をおこなっています。レーザー治療とは、人工的に作った強力な光（レーザー光）を特定の組織に当てて強い熱を発生させ、さまざまな治療をおこなう治療法であり、光を発生させる素材（これによってレーザー光の種類が変わります）、強さ、当てる時間などの設定を変えることで様々な用途に応じた治療装置が作られています。当科で使用している「Qスイッチアレキサンドライトレーザー」は、皮膚に茶色～黒色の色をつけるメラニンという色素に熱を発生させる光であり、1億分の50秒というごく短い時間しか患部に当てないために、皮膚は焼かずに中の色素だけ焼くという特徴があります。このため、皮膚にやけどを起こさずにシミやあざを取り除くことができます。治療にかかる時間は数分（大きなあざでも数十分）程度であり、日帰りで治療可能です。

現在、当科では主に①日光黒子（年齢を問わず日に当たる機会の多かった方の顔や手などにできる、いわゆるシミ）②雀卵斑（子どもの頃からある「そばかす」）③太田母斑（主に生まれたときから顔面の半分に生じる青黒いあざ）などの治療をおこなっております。

一部のあざを除いて、「Qスイッチアレキサンドライトレーザー」の治療の多くは健康保険が効きませんので、事前に十分な時間をかけて治療についての説明をさせていただき、ご納得していただいたうえで治療を進めるようにしております。そのため初回受診は診察のみとさせていただき、2回目以降の診察から実際の治療を開始することとしております。面倒ではありますがご理解、ご協力お願いいたします。なお、シミ、あざで受診された方の多くはレーザー治療の対象になりますが、レーザー治療が適応にならないシミ（肝斑という境目がはっきりしないシミや、初期のホクロのがんが疑われるシミなど）もあります。この場合は他の治療法などについてお話ししております。また、小さなお子さんの治療および赤いあざ（おもに血管腫という、細かい血管が部分的に増えた状態）については、治療をおこなっている施設のご紹介などの対応をしております。

診察日	毎週木曜日 14:30～17:00
予　約	必要
紹介状	必要

物忘れ

神経内科　榊原優美医師

特色

通常の神経内科外来診療の中でおこなっております。アルツハイマー型認知症の診断は、通常の脳ドックなどでおこなう頭部のMRI検査だけでは分かりにくいと言われています。

当科では、頭部のMRI検査をする際に、アルツハイマー型認知症で特徴的な、海馬の萎縮を客観的に数値で表した、VS-RADという統計ソフトを使った解析をして、診断の補助に使っております。

また、レヴィ小体型認知症や前頭側頭型認知症など、より精密な検査が必要な場合は、専門の医療機関をご紹介する場合もあります。

診断、初期治療後は、紹介患者の方には、紹介元の医療機関で継続治療が出来るよう、情報提供させていただきます。特に紹介状がなく、受診された新患の方でも、ご自宅の近くの認知症サポート医を紹介しております。普段の投薬は、神経内科専門医でなくとも、内科のクリニックであれば十分可能です。ご希望に応じてかかりつけの医療機関やご自宅近くのクリニックに情報提供しますので、ご相談下さい。

また、認知症の治療は、薬物治療による介入だけでは不十分で、介護環境を整える事が最も重要と言われています。当院には、介護保険の申請方法などについて、ソーシャルワーカーという福祉相談員がおりますので、ご希望に応じて説明させていただきます。

近年、認知症の予防・診断技術の向上、マスコミによる啓発などに伴い、受診される方が急増しています。当科では、物忘れ以外の外来診療や画像の読影など、すべて1名の神経内科医で対応しておりますので、完全予約制としています。ご不便をおかけしますが、ご了承下さい。

ご本人のみの診察・検査では、認知症の診断は出来ません。ご本人のことをよく知っているご家族、ご親戚やお知り合いの方、かかりつけ医などの情報が不可欠ですので、例えおひとりで受診された方でも、検査の結果は、必ず付き添いの方にも説明させていただく方針としております。認知症の治療を長期に続けるには、ご家族の方以外にも、地域包括支援センター、ケアマネージャー（介護支援専門員）などの福祉のサポートが重要です。

診察日	毎週木曜日 13:30～15:30
予　約	必要 ※紹介状をお持ちの方でも、必ず予約を取って下さい。
紹介状	必要

※詳細は病院のホームページをご覧下さるか、予約センターにお問い合わせ下さい。

このほかに乳腺や肩・スポーツなどの専門外来もあります。
専門外来の受診や予約は予約センターにお問い合わせ下さい。

なお、紹介状をお持ちでない場合、一部初診時の費用（初診時選定療養費として3,150円）がかかります。
また、専門外来担当医師の学会等出張により休診になることがありますので、病院ホームページ、予約センター等で、ご確認下さい。

第8回 医療連携フォーラムを開催しました

平成24年10月24日(水)19:30より8階講堂にてフォーラムを開催いたしました。大変お忙しいところ、ご出席いただき誠にありがとうございました。

フォーラムは副院長・リウマチ膠原病センター長の縄田泰史より当センターの紹介、続いて渡邊紀彦医長より「膠原病の話」、高橋成和医師より「関節リウマチの話」、松本弘俊医師より「骨粗鬆症の話」、濱里一裕医師より「不明熱・感染症の話」について講演いたしました。

講演に続き当院8階レストランにて情報交換会をおこないました。ご出席の先生方と当院医師が直接お会いする事ができ、「顔の見える連携」に大変良い機会を重ねることができました。これからもさらに医療連携に努力してまいります。今後ともご指導賜りますようにお願い申し上げます。

次回、第9回医療連携フォーラムは2月下旬頃に予定しております。詳細は決まり次第ご案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。

ご希望がありましたら、医療連携室までご連絡をお願いいたします。

糖尿病講座のご案内

当院では、2ヶ月に1回糖尿病講座を開催しています。参加費は無料ですので、是非ご参加ください。なお、参加人数に制限がありますので、事前に予約をお願いいたします。

お申し込み・お問い合わせは、内科外来まで

1 月の講座

日　時　1月25日(金)　14:00～16:00
場　所　当院８階講堂
テーマ　糖尿病と運動療法
　　糖尿病の運動療法の実際
　　嗜好品について

3 月の講座

日　時　3月22日(金)　14:00～16:00
場　所　当院８階講堂
テーマ　糖尿病Q＆A
　　「あなたの疑問にお答えします!」
　　患者交流会

工事のお知らせ

2階の産婦人科外来西側の増築工事を1月～3月頃の期間に予定しております。皆様にはご迷惑やご不便をおかけしますが、安全対策・騒音対策には細心の注意を払って工事をおこなってまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

お知らせ　「済生会だより　ならしの」が No11(2009年夏号)より病院ホームページからご覧になれます。

発　行／千葉県済生会習志野病院
〒275-8580 千葉県習志野市泉町1-1-1　TEL 047-473-1281（代）　FAX 047-478-6601
ホームページ　http://www.chiba-saiseikai.com